
ロストタイム

ショウヘイ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ロストタイム

【Nコード】

N3134Y

【作者名】

シヨウヘイ

【あらすじ】

奇妙な事件の弁護依頼が舞い込んだ。

殺人を犯した犯人が犯行時の記憶がないというものだ。

彼の記憶を取り戻し、真実を打ち明けなければならない。

始まりの音

2016年6月12日。

一人の男が逮捕された。

名前はスティーブ・マクレイン。

罪名は殺人。

犯人のステイプは錯乱している様子だった。彼の顔色は尋常ではなかった。

罪を犯したせいか、顔色は蒼白い。

ただ、彼には裏があつた。

殺人罪で逮捕された彼には記憶がない。

人を殺めた記憶。

被害者との面識。

それどころか、その日、一日の記憶が全くなかったのだ。

気が付けば警官に押さえつけられ、パトカーに乗せられていた。

尋問を受けようにも答えられない。

答えない彼を警察は追い込もうとしていた。

彼にとってみれば冤罪。

自分の知らない間に人が死に、死に追いやったのが自分と言つことになつている。

彼に逃げ道はなかった。

身に覚えのない罪を認めるしかない。

そうすれば、少しは楽になる。

彼の頭はいつもボンヤリとしていた。

そんな彼を弁護することになった人物がいた。

ジョン・ダグラス。

弁護士だ。

運の悪い事に彼の弁護をすることになった。

100%勝ち目のない弁護を引き受ける弁護士なんてどこにも居なかった。

しかし、彼にはステイプを弁護する必要があった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3134y/>

ロストタイム

2011年11月7日11時11分発行